



TOPIC 3

講座レポート「NPOってなーに？だれでも分かるNPO入門講座」

【日時】2023年1月29日(日)10:00~11:30
【講師】門真市立市民公益活動支援センター スタッフ 榮泰隆
法人の設立を考える団体に、NPOの定義・歴史や地域社会におけるNPOの役割などについて説明。これからどのような形で活動していくかを考えるためのセミナーとなりました。



- ◆参加者の声
・NPOを運営するにあたって経営戦略力、会計力、幅広い人脈づくりが大事だとわかりました。
・NPO法人のしくみがわかりましたが、会員などの部分がむずかしかった。

素朴な疑問をセンター長に聞いてみたコーナー vol.4

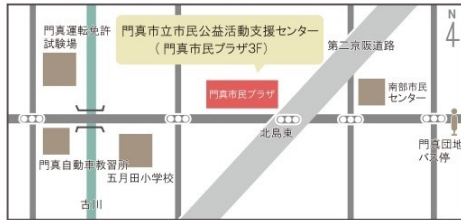


- Q. ボランティアってみんな無償で働いているの？
ボランティアは無償とは限らないよ〜。感謝の気持ち(謝金)やボランティア活動に必要な経費が出る。有償ボランティアもあるし。ちなみに、ボランティアは「個人の自発性」に基づいた活動なので、決してやらされている活動ではないんよ。あと、見返りを求めない活動って言うところもポイントかな。ボランティア活動に興味・関心がある方は、市民公益活動支援センターへお気軽に相談して下さいね♪
Q. 門真には、どんな市民活動をしている人がいてはるんですか？
市民活動の幅は広いから、色んな市民活動が展開されているよ〜。詳しくは、『公益times』のバックナンバーや、市民公益活動支援センターのホームページを見てね。今回は、「地縁型組織」と「課題型組織」に分けて考えてみよう！
◆地縁型組織:自治会や子ども会、地域会議など、原則、その地域(エリア)に住んでいる人々のために活動している団体(地域(エリア)外の人々は活動の対象ではない)。
◆課題型(テーマ型)組織:NPO法人や一般社団法人など(もちろん、法人格を持っていない団体もあります)、個々人の興味・関心が一致(=解決したい課題を共有している)し、集まっている団体(解決したい課題のためなら、地域(エリア)は関係ない)。

市民公益活動支援センターは、「非営利」かつ「不特定多数の利益」となる、市民公益活動をサポートしています。

門真市立市民公益活動支援センター
(指定管理者) 特定非営利活動法人 大阪NPOセンター

住所: 〒571-0025 門真市大字北島546番地
門真市民プラザ3階
TEL: 072-800-7431
FAX: 072-800-7432
メール: ko-eki-c@aqua.ocn.ne.jp
開館時間: 9:00~21:30
休館日: 毎週木曜、年末年始(12/29~1/3)
ホームページ: www.kadoma-koeki-cnt.com



Access

●京阪本線「大和田駅」から京阪バス(1系統)で「門真団地バス停」まで約10分、「門真団地バス停」から徒歩で「門真市民プラザ」まで約15分



公益times ~PUBLIC INTEREST TIMES~



門真市立市民公益活動支援センター

TOPIC 1 講座レポート「市民活動勉強会」

2月26日と3月5日の2日間、特定非営利活動法人きょうとNPOセンター フェローの久保友美さんを講師にお迎えし、「市民活動勉強会」を開催しました。

第1回「地域カルテ」をつくろう

第1回は、地域の特性を示すデータ(情報)をまとめて記録した「地域カルテ」作成に取り組みました。主観だけでなく、データを基に地域を知ること、客観的な視点で、門真でどのように暮らしていきたいかを考える機会となりました。



- ◆参加者の声
・みんなで地域の情報を共有し整理することによって、自分事として考えることができ、理解が深まりました。

第2回「SWOT分析」をしてみよう

第2回は、前回書き出した地域のデータ(情報)を、自分たちの地域の強み(Strength)と弱み(Weakness)、自分たちの地域の外に存在する機会(Opportunity)と脅威(Threat)の4つの項目に分けました(SWOT分析)。そうすることにより地域の現状を客観的にとらえることができます。また、それぞれを掛け合わせることで(クロス分析)、さまざまな発想が生まれ、今後の展望について考える機会となりました。



- ◆参加者の声
・門真にもこんなに強みがあったなんて驚きです。人と話すということは大切ですね。SWOT分析を考えたことがなかったので、勉強になりました。



*警報などの発令により、開館状況が変更となる場合がありますので、詳しくはホームページをご確認ください。

TOPIC 2 団体会計の大切さ

団体にとって、お金の動きを記録する会計はとても大切なことです。
以下のポイントをおさえ、きちんと管理しましょう。

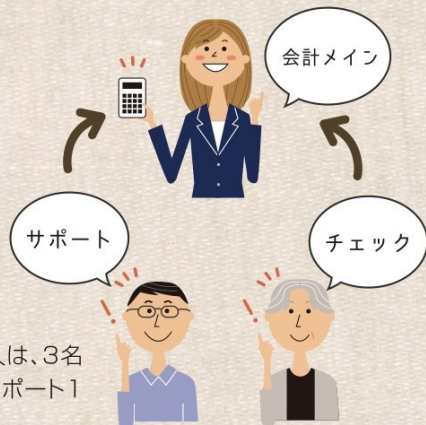
ポイント① 会計の担当者

1. 会計担当をみんなでしましょう。
メインを1人、そのサポートをする人を1人決めた方がいいです。

2. 会計担当者と団体のチェックをする監事は別の人にしましょう。

お金に不審な動きないかをチェックする人が、常日頃の会計を担当することは好ましくありません。

上記のことを踏まえると、団体の会計に携わる人は、3名必要になります。例えば、団体の代表者1名とサポート1名、監事1名が担うといいと考えます。



ポイント② 会計の基本業務

1. 毎月のお金の出入りを必ず完成させましょう。
月初めと月終わりに、必ず会計担当者はお金の出入りを確認しましょう。一番簡単な確認の仕方は、通帳と出納帳(=領収書等の証明書類)の金額(団体が手持ちの現金も含む)が一致したらいいです。

2. 現金での保持は避けて、通帳で管理しましょう。
通帳と月の管理の出納帳を必ず確認するようにしましょう。

初歩的ではありますが、
団体の通帳と出納帳が一致することを
目指しましょう。



ポイント③ 会計の応用業務

1. 簿記を学びましょう。
お金の出入りには、複雑なものもあります。また、資産を保持した場合は、いろいろな手続きが必要になります。その時の記録の仕方に専門的な知識が必要になります。その時に簿記の知識が必要です。逆をいえば、複雑なことをしない運営であれば、簿記の知識がなくても、会計はできるということです。難しいことは考えず、どんどん「お金の動き」を記録していきましょう!!!

2. やりたいこと「イベント」「講座」「セミナー」などで、別々の管理をしましょう。
活動をしているとメインの活動もあれば、特別イベントのようなこともあります。その際に予算を決めて、その予算範囲でお金を使い、使ったお金を記録しましょう。これにより、イベントごとで経営状況(赤字・黒字)の確認ができるようになります。4月になり、色々なことがスタートします。会計の業務も気持ちを新たに組み込んでみましょう!

いかがでしたか?
会計をすることは、しっかり記録することが第一です。

助成金などの一例

都会の子供たちの環境学習活動に対する助成事業

緑化や自然体験などの環境学習活動の実践を通じて、自然環境の保全と改善について、地域の子供たちの意識向上を図ることを目的とする。

実施団体: 公益財団法人 高原環境財団
募集メ切: 2023年5月11日
助成限度額: 助成対象費用の額、
または50万円のいずれか少ない額。(1件当たり)



第22回 トム・ソーヤースクール企画コンテスト

小中学生が概ね10人程度参加する自然の中での体験活動であれば、ジャンルは問いませんがユニークさと独創性にあふれ、高い教育効果が得られる活動を募集します。

実施団体: 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
募集メ切: 2023年5月17日
実施支援金: 選考の上、50団体に実施支援金10万円を贈呈。

